

生命倫理

2019 年本試

問 2 家族関係を多様にする要因の一つに，生殖技術の発達がある。生殖技術をめぐる状況の記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

2

- ① 着床前診断を用いることにより，受精卵が胎児に成長した段階で，胎児の遺伝子や染色体に異常がないかどうかを検査することができるが，親が望まない子の出産を控えるなど，命の選別をもたらす，という批判がある。
- ② 親の望む遺伝子を組み込んだデザイナー・ベビーをもうけることが日本でも法的に認められ，実際にそうした子どもが誕生しているが，子どもを親の願望を実現するための道具にしてよいのか，という批判がある。
- ③ 代理出産(代理懐胎)には複数の方法があるが，どの方法を用いても，代理母が生まれてくる子どもの遺伝上の母親となるため，代理出産を依頼した夫婦との間で子どもの親権をめぐる争いが発生する場合がある。
- ④ 第三者の男性が提供した精子を用いて人工授精を行うことにより，女性が単独で子どもをもうけることも可能となっているが，将来子どもに，遺伝上の父親についての情報を知らせるかどうかが問題となる場合がある。

問 2 次の文章は，医者モラルについて述べた「ヒポクラテスの誓い」と呼ばれる文書の一部である。その内容に一致した医者あり方として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 12

医術を授けてくださる師を，私の両親と等しい者とみなし，……また，師の子息たちが医術を学ぶことを望むならば，報酬も師弟誓約書もとることなく教えます。……養生治療を施すにあたっては，能力と判断の及ぶ限り患者の利益になることを考え，危害を加えたり不正を行う目的で治療したりしません。また，求められても，致死薬を与えることはせず，そういう助言もしません。……私の生活と医術をともに清浄かつ敬虔^{けいけん}に守り通します。……また，どの家に入っていくにせよ，患者の利益になるように考え，いかなる意図的不正も害

悪も加えません。……治療のとき、または治療しないときも、人々の生活に関して見聞きすることで、およそ口外すべきでないものは、それを秘密事項と考え、口を閉ざします。

(『誓い』より)

- ① 医者は、患者が自らの死を望んでいるならば、そうした意思を尊重し、患者に致死薬を与えて安楽死に協力することも許される。
- ② 医者にとって重要なのは、患者を治療するための知識の有無であり、自身の私生活において倫理的な振る舞いができているかどうかは問われない。
- ③ ある患者にとって利益になるのであれば、医者は、別の患者を医学実験の被験者にしてその患者に不利益を与えることも許される。
- ④ 医療知識は医学を学ぶ者へ伝えていくべきだが、医者は、患者の守られるべき個人情報に関しては、いたずらに他人に伝えるべきではない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問2	2	④	3
第2問	問2	12	④	3

2018 年追試

問 4 再生医療についての説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① ES 細胞や iPS 細胞などの研究が進むにつれて，様々な細胞に分化する可能性をもつ細胞を人工的に作り出せるようになってきた。その結果，従来は作ることが難しかった臓器などの再生への可能性が開けてきた。
- ② ES 細胞を作るには，受精卵や初期胚が必要である。それに伴う問題として，人間の生命の ほうが 萌芽 であるとされる受精卵や初期胚を実験に使ったり，医療資源として使ったりすることの是非が議論されている。
- ③ iPS 細胞を作るには，脳死状態に陥ったドナーによって提供された臓器が必要である。それに伴って，そもそも人の死とは何なのか，身体や臓器は誰のものなのか，などを改めて考え直す必要性が高まってきた。
- ④ ES 細胞や iPS 細胞などの研究が進むにつれて，それらは生殖細胞にも分化し得ることが分かってきた。その結果，生殖細胞を人工的に作ったり，それらを受精させたりしてもよいのか，という問題が生じている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	4	③	3

2017 年本試

問 1 生命の価値について SOL (Sanctity of Life) と QOL (Quality of Life) という考え方がある。SOL と QOL に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① SOL を重視する立場によれば、人間の生命には質的な差異はなく、いかなる人間の生命も絶対的に尊重されねばならないので、重篤な患者であっても安楽死や尊厳死は認められない。
- ② QOL を重視する立場によれば、生命の質が何よりも尊重されるべきであるので、医師は、患者自身の意向に左右されずにパターンリズムに ^{のつと} 則って治療にあたらなければならない。
- ③ SOL を重視する立場によれば、延命治療に関して患者が事前に表明した意思(リビング・ウィル)が尊重されるべきであり、医師はそうした患者の意向に従わなければならない。
- ④ QOL を重視する立場によれば、各人の生命には絶対的な尊厳が認められねばならないので、生命の価値に優劣の差は存在せず、生命の価値を定めるのは当の個人でなければならない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	1	①	3

2016 年本試

問 1 遺伝子の応用技術をめぐる問題についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 遺伝子組み換え技術は，植物などの遺伝子を操作することにより，除草剤や害虫に強い作物を作り出すという利点がある反面，生態系のバランスを崩す危険性がある。
- ② 着床前診断は，受精卵の遺伝子を調べることにより，子どもの重篤な遺伝性疾患の有無や発症の確率を事前に予測できるという利点がある反面，優生思想につながる危険性がある。
- ③ 遺伝子は，命の設計図とも言われるように，個人のパーソナリティを決定する。クローン人間の作成は，ある個人と完全に同じ性格の個人をもう一人作り出すことで，かけがえのない個人の尊厳を損なう危険性がある。
- ④ 遺伝情報は，究極のプライバシーとも言われるように，慎重な取扱いを必要とする。遺伝子診断は，個人の将来の病気のかかりやすさが予測されることで，就職や保険加入や結婚の場面での差別を生み出す危険性がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	1	③	3

2015 年追試

問 2 生命倫理をめぐる日本の現状についての記述として最も適当なものを，次の

①～④のうちから一つ選べ。

2

- ① リヴィング・ウィルとは，死の迎え方についての希望や意思を生前に表明する文書である。リヴィング・ウィルに基づいて，致死薬の投与などにより患者を直接死に導く安楽死が法的に行われるようになった。
- ② 出生前診断とは，障害や遺伝病の有無などを受精卵や胎児の段階において診断する技術である。この技術の利用は，命の選別につながりかねず，病気や障害をもつ人への差別を助長しかねないとの懸念が示されている。
- ③ パターナリズムとは，人は自分の生命や身体の扱いについて自分で決定することができるという原則である。この原則に基づいて，医療の現場では，患者の同意を得たうえで治療を行うことが重視されるようになった。
- ④ 脳死とは，全脳が不可逆的に機能を停止した状態である。脳死は，心臓死と同様に死とみなされ，患者本人が臓器提供を承諾しているかどうかにかかわらず，誰もがその判定の対象とされている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	②	3

2014 年追試

問 5 次のア～ウは日本における生殖技術をめぐる状況を記述したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

5

ア 代理出産の利用を認めた場合、親子関係が複雑になるため、生まれた子に対する親権や養育権をめぐる争いが生じることが懸念されている。

イ 第三者から提供された精子で人工授精を行う場合、遺伝上の父親を知る権利を子どもに認めるかどうか問われている。

ウ クローン技術の発達に伴い、ヒトクローン胚を母胎内に移植して子どもをつくるのが、法的に認められた。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	5	②	3

2012 年本試

問 1 今日、動物実験をする際に配慮すべき原則（3 R と呼ばれる原則）として次の A ～ C が挙げられる。ア～エの事例を A ～ C に分類した場合の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- A Reduction(動物使用数の削減)
- B Replacement(動物実験の代替手段への置換)
- C Refinement(動物が受ける苦痛の軽減)

- ア 小型のブタを利用して心臓などの臓器の摘出トレーニングを行う際、ブタに十分に深い麻酔をかける。
- イ 研究者や研究組織が実験データを公開し、情報を共有することで、重複する実験を行わないようにする。
- ウ ウサギの目に試験薬物を塗る実験をやめ、目の組成によく似た細胞を使い、それに試験薬物を塗る実験を行う。
- エ 必要に応じて実験動物に水や餌^{えき}を与えるとともに、実験動物のいる空間を適切な温度に維持する。

- ① アーA イーB ウーC エーA
- ② アーA イーC ウーB エーC
- ③ アーB イーA ウーC エーB
- ④ アーB イーC ウーA エーA
- ⑤ アーC イーA ウーB エーC
- ⑥ アーC イーB ウーA エーB

問 2 クローンや遺伝子に関わる技術に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから正しいものを一つ選べ。 32

- ① 出生前診断によって、男女の判別や産み分けはまだできないが、胎児の障害の有無を知ることが部分的に可能になった。しかし、出生前診断が命の選別や新しい優生学につながるのではないかという批判もある。

- ② ヒトゲノムを解読しようとする試みは、1990年から進められ、2003年には解読の完了が宣言された。このことによって、どの遺伝子配列がどのような役割を果たすかについてすべて解明されたことになる。
- ③ 1990年代後半、クローン羊ドリーが誕生し、ほ乳類の体細胞クローンの作成が可能であると知られるようになった。このクローン技術を応用すれば、拒絶反応のない移植用臓器の作成が将来は可能になるという主張もある。
- ④ 遺伝子組み換え技術は、農薬や害虫に強い新しい品種の食物を作ることが可能にしている。既にいくつかの遺伝子組み換え作物が商品化され、その結果、安全性や環境への影響を疑問視する声はなくなった。

問3 次のア～ウの事例は日本の臓器移植法(1997年成立、2009年改正)でどう扱われるだろうか。ア～ウの事例をA～Dに分類した場合の組合せとして正しいものを、下の①～③のうちから一つ選べ。 33

ア Eさんは、脳死状態になった場合には心臓を提供したいという意思表示を口頭でしていた。Eさんが14歳で脳死状態になったとき、両親はEさんの心臓の提供を病院に申し出た。

イ Fさんは、脳死状態になった場合には肝臓を提供することをドナーカード(臓器提供意思表示カード)に記していた。Fさんが15歳で脳死状態になったとき、両親はFさんの肝臓の提供を病院に申し出た。

ウ Gさんは、脳死状態になった場合には心臓と肝臓の提供を拒否することをドナーカードに記していた。Gさんが16歳で脳死状態になったとき、両親はGさんの心臓と肝臓の提供を病院に申し出た。

- A 改正前の臓器移植法でも改正後の臓器移植法でも提供が認められる。
- B 改正前の臓器移植法でも改正後の臓器移植法でも提供が認められない。
- C 改正前の臓器移植法では提供が認められないが、改正後は認められる。
- D 改正前の臓器移植法では提供が認められるが、改正後は認められない。

- ① アーA イーB ウーC
- ② アーA イーC ウーB
- ③ アーA イーC ウーD

- ④ アーB イーA ウーC
⑤ アーB イーA ウーD
⑥ アーB イーC ウーA
⑦ アーC イーA ウーB
⑧ アーC イーA ウーD
⑨ アーC イーB ウーA

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問1	31	⑤	2
第5問	問2	32	③	3
第5問	問3	33	⑦	3

2010 年追試

問 3 脳死と植物状態についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 脳死とは脳幹を含む脳全体の機能が回復不可能な仕方で停止した状態であり、植物状態とは大脳の機能は回復不可能な仕方で停止しているが脳幹の機能が保たれている状態である。
- ② 脳死とは脳幹を含む脳全体の機能が回復不可能な仕方で停止した状態であり、植物状態とは大脳の機能は保たれているが脳幹の機能が回復不可能な仕方で停止した状態である。
- ③ 脳死とは大脳の機能は回復不可能な仕方で停止しているが脳幹の機能が保たれている状態であり、植物状態とは脳幹を含む脳全体の機能が回復不可能な仕方で停止した状態である。
- ④ 脳死とは大脳の機能は回復不可能な仕方で停止しているが脳幹の機能が保たれている状態であり、植物状態とは大脳の機能は保たれているが脳幹の機能が回復不可能な仕方で停止した状態である。

問 4 今日、次のア～エが代表的な医の倫理原則として挙げられている。これらの原則を説明した文章中の a ～ d の中に入れる原則の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 34

- ア 自律尊重：患者の自己決定を尊重すること
- イ 無危害：患者に危害を加えないこと
- ウ 善行：患者に恩恵を与えること
- エ 正義：患者を公平に扱うこと

古来、生命尊重の立場から、消極的な a の原則が医療従事者の普遍的義務として重んじられてきた。それに対して、積極的に治療や延命に取り組むのが、 b の原則である。だが、今日では、患者の人権を擁護する立場に

基づいて、医療従事者の価値観と患者の価値観が異なる場合には、医療従事者の価値観を患者に押し付けてはならないとの観点から、の原則がクローズアップされるようになった。さらに、現代社会において、医療サービスに種々の格差のあることから、の原則が重要と考えられている。

- ① a—ウ b—イ c—ア d—エ
- ② a—イ b—ウ c—エ d—ア
- ③ a—イ b—ウ c—ア d—エ
- ④ a—ウ b—イ c—エ d—ア
- ⑤ a—ア b—イ c—ウ d—エ
- ⑥ a—エ b—イ c—ウ d—ア
- ⑦ a—エ b—ウ c—イ d—ア
- ⑧ a—ア b—ウ c—イ d—エ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問3	33	①	3
第5問	問4	34	③	3

問 4 世界保健機関（WHO）は、次のように緩和ケアを定義した。その定義における苦痛については、図のような説明が考えられる。定義と図を踏まえたうえで、緩和ケアの考え方として**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。

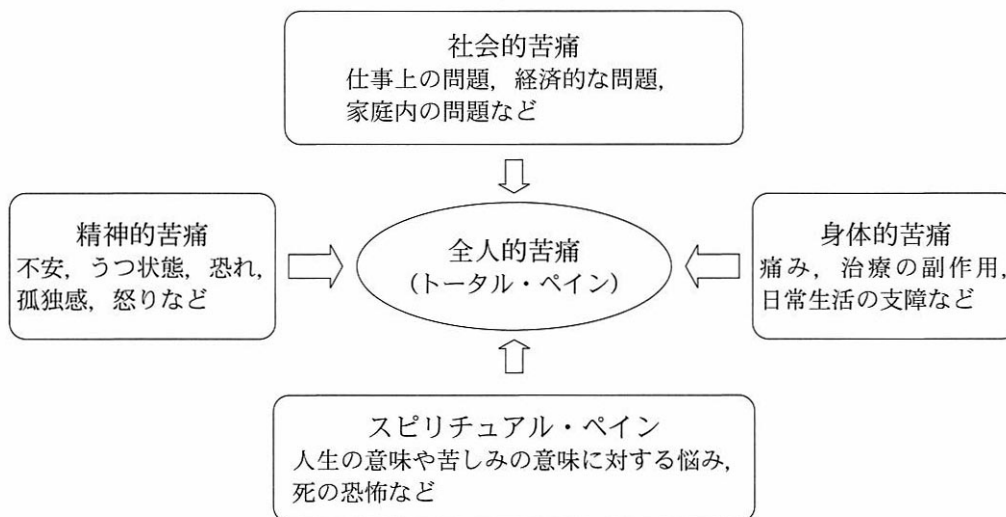
34

定 義

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の苦痛、身体的問題、精神的問題、社会的問題、スピリチュアルな（霊的な、魂の）問題に関して、早期からきちんとした評価を行い、それが障害とならないように予防したり、対処したりすることで、クオリティー・オブ・ライフ（生活の質、生命の質）を改善するためのアプローチである。

（世界保健機関Web ページ）

図



- ① 緩和ケアは、末期治療に限定されるものではなく、治療の過程に生じる様々な苦痛を和らげようとするアプローチである。
- ② 緩和ケアが改善しようとしているクオリティー・オブ・ライフには、患者本人だけでなく、患者をとりまく家族の生活の質も含まれる。
- ③ 緩和ケアという考え方は、患者が感じている苦痛を分類し、ケア・スタッフが、患者の身体的苦痛に集中して治療できるようにする。
- ④ 緩和ケアという考え方は、治療の間に変化する患者のニーズにこたえるために医療従事者と患者のコミュニケーションを重視している。

問5 ケアの倫理に関して、次の文章は、ギリガンがエイミー（11歳女）とジェイク（11歳男）の二人に行ったインタビューを分析したものである。その分析のなかで、ギリガンは、エイミーの責任感にケアの倫理が典型的に表れていると考えた。次の文章も参考にしつつ、ケアの倫理の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

ジェイクにとっての責任は、他の人のことを考えて、自分がしたいことは我慢することを意味しています。それに対して、エイミーにとっての責任は、他の人が彼女からされたいと願っていることをすることを意味しています。二人とも、人を傷つけることを避けようとしているのですが、異なる仕方の問題を見ているのです。ジェイクは、攻撃的なところを見せると人は傷つくと考えるのですが、エイミーは、応答されないことで人は傷つくと考えるのです。

（キャロル・ギリガン『もうひとつの声』）

- ① ケアの倫理によれば、私たちには他者との関係性が大切なので、他者に対する危害を禁止するような一般的なルールが存在する。
- ② ケアの倫理によれば、人は生きるためにお互いに配慮し合うべき存在であるから、積極的に他の人々を気遣わなければならない。
- ③ ケアの倫理によれば、私たちは自分の行為が人を傷つけることがあり得ることを認識し、他者に干渉することは避けなければならない。
- ④ ケアの倫理によれば、私たちが他者を頼りにするのは当然であり、そのことによって他者が傷つくかもしれないとまでは考えなくともよい。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問4	34	③	3
第5問	問5	35	②	3

2009 年追試

問 1 現在の日本の先端医療技術についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 胚性幹細胞 (ES 細胞) は、あらゆる組織や臓器になりうる万能細胞であり、再生医療などに積極的に利用されている。
- ② 心臓や肝臓は、血流が停止すると比較的短時間で組織が破壊されてしまうので、このような臓器の移植は、医師の判断で緊急に行われている。
- ③ 胎児の障害や遺伝病の有無などを調べる出生前診断は、異常が認められた場合に生命を選別することにつながるため、法的に禁止されている。
- ④ 臓器を提供するという本人の意思表示と家族の同意がある場合には、全脳の機能が不可逆的に停止した状態は人の死と判定される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 1	31	④	2

2008 年追試

問 3 当事者の声に 眞摯^{しんし}に耳を傾けることの重要性は福祉や医療の場でも認識され、利用者や患者本人の「自己決定の尊重」が定着してきた。しかし、自己決定を支えるには、同時に、その範囲や社会との関係についての正しい理解が必要である。これに関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 通常の場合でも本人の意思を尊重することが求められるのだから、生死にかかわる救急時にも本人の意思決定が不可欠である。
- ② 患者が子どもであっても、自分に関する事柄を判断するのに必要な情報を十分に理解しているのであれば、保護者の承諾は必要とされない。
- ③ 人のクローン個体作製のような先端的医療技術の場合には、それを切望する人が多くても、社会的倫理的な検討が必要である。
- ④ 認知症などで本人の意思を確認することが難しい人の場合には、本人の意思を推量するのではなく、医学的判断を優先することが求められる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 3	33	③	3

2006 年本試

問 5 脳死に関して，日本の臓器移植法で採用されている定義として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 脳死とは，心臓の拍動が停止するとともに，脳幹を含む全脳の機能が不可逆的に停止した状態のことである。
- ② 脳死とは，心臓の拍動が停止するとともに，脳幹を除く脳の機能が不可逆的に停止した状態のことである。
- ③ 脳死とは，脳幹を含む全脳の機能が不可逆的に停止した状態のことである。
- ④ 脳死とは，脳幹を除く脳の機能が不可逆的に停止した状態のことである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 5	36	③	2

2006 年追試

- A バイオテクノロジーや医療技術は、我々を襲う様々な苦痛を除去したり軽減したりすることに役立ってきた。しかし、近年、そうした技術の利用の是非が問われる場面も生じている。例えば、バイオテクノロジーの人間への応用を制限することが社会的な課題として認識され始めており、多くの国が、a 人間のクローン
個体を産み出す技術の利用を法律等により禁じている。また、個々人にとって医療技術の利用が望ましいものではない場合があることも認識され始めており、
b リヴィング・ウィルに基づいて延命治療を拒否する動きが起こっている。

問1 下線部 a に関して、個体を産み出すクローン技術を、優生学(優生思想)の立場から人間に応用しようとする発想に反対する考え方として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① その技術により生まれてくる人間は、同じゲノムをもつ人の一生を知ることによって自分の一生が分かり、「知らずにいる権利」を侵害される可能性があるため、そのような技術は禁止されるべきである。
- ② 不確かで危険性が高い技術であり、その技術により生まれてくる人間の安全な生存と成長を保証することができないため、そのような技術は禁止されるべきである。
- ③ 男女両性の関与のない生殖が行われるようになることで、男女の結び付きや人間の生殖の尊さが損なわれる可能性があるため、そのような技術は禁止されるべきである。
- ④ 「価値ある」遺伝形質をもつ人間を人為的に産み出すことは、遺伝形質に基づいた人間の選別・序列化につながるおそれがあるため、そのような技術は禁止されるべきである。

問2 下線部 b のリビング・ウィルの説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 本人の意思を家族が推定して作成することも認められているが，原則としては本人が延命治療の拒否を表明する文書である。
- ② 本人があらかじめ延命治療の拒否を表明する文書であり，本人の意思による作成のみが認められている。
- ③ 本人があらかじめ延命治療の拒否を表明する文書であり，本人の依頼を受けた医師による作成のみが認められている。
- ④ 本人の意思を代理人が推定して作成することも認められているが，原則としては本人が延命治療の拒否を表明する文書である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問1	30	④	3
第5問	問2	31	②	3

2004 年本試

問 8 生命倫理において主張される自己決定権の尊重に関して重要視されている「インフォームド・コンセント」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① インフォームド・コンセントとは、患者が、最新の治療を受けるために他の病院を紹介してもらうなど、医師に対して医療情報の提供を求める権利のことである。
- ② インフォームド・コンセントとは、患者が医師から症状や治療の内容について十分な説明を受け、それを理解した上で、治療方針を自ら選ぶことである。
- ③ インフォームド・コンセントとは、できるだけ退院を早めるために、医師が一時帰宅を中心とした治療プログラムを、患者の家族と相談して作ることである。
- ④ インフォームド・コンセントとは、深刻な病気であることを医師が家族にのみ告知し、患者にはストレスや不安を抱かせないで、治療に全力を尽くすことである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 8	37	②	3

2002 年追試

問 1 技術によって、生活の仕方からものの捉え方まで変化していることに関して、このような変化のうち、最近の医療技術の進歩に伴って生じている事態についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 遺伝情報の解読により、将来かかりうる病気が予測できると期待されているが、就職や保険加入の際の新たな差別の恐れや、プライバシーの権利の保護をめぐる問題も生じている。
- ② 体外受精などの生殖技術の登場によって、不妊を治療の対象とみる捉え方が広まってきたが、同時に、この技術によって家族のあり方に今後根本的な変化が起きる可能性が生まれている。
- ③ 高度な先端医療の発達によって、生命を技術的な手段で延長することが可能になり、生命の質や患者の意思を重視する従来の考え方から、患者の延命を第一とする考え方への変化が生じてきている。
- ④ 抗生物質の発達により感染症は減少したが、院内感染の問題をきっかけに厳密な管理体制の必要性が認識され、医療機関における衛生上の管理規則や取扱い業務の体制が改められつつある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	29	③	3

2001年追試

問2 自分のことは自分で決められるという一見簡単に思われる原則が、多様な問題に ^{かか}関わっている。この問題についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 「子供の権利に関する条約」は児童虐待の禁止などをその内容としているが、子どもは保護される未成年であることから、髪型や服装などの校則や学校教育の中での行事について、児童生徒が自分の意見を自由に表明する権利は、そこに含まれていない。
- ② 現在は、自動車を走らせている時にドアをロックするかどうかは、乗車している人々の自主的な判断に任されているが、もしも走行時にドアをロックすることが法律によって義務化されれば、各人がいちいち自分で考える必要はなくなる。
- ③ 医療技術が高度化・複雑化した結果、医療処置を効率的に進めるためには、患者は専門家の判断を信頼し、あらかじめその医療行為の選択について担当医に全面的に委任しておくことが、近年ますます求められるようになっていく。
- ④ ^{しゅつせいぜんしんだん}出生前診断によって、障害を持って生まれてくる可能性が高い胎児を選択的に中絶することは技術的に可能になったが、その際に産む側が行う中絶という選択に対して、「障害児の生まれてくる権利を侵害しているではないか」という批判もある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問2	28	④	3

2000 年本試

問 4 科学技術に対する倫理的問いかけがさまざまになされているが、その記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 医療技術が誕生と死をも操作するようになって、生命倫理学という分野が成立した。それは、治療や研究に倫理的指針を与えるだけでなく、患者の自己決定権をインフォームド・コンセントという形で提唱している。
- ② 『沈黙の春』は環境問題を倫理的に問う上で重要なきっかけとなった書の一つである。こうして生まれた環境倫理学は、その一特徴として、問題解決のための行動を将来の世代にまかせるという世代間倫理を主張している。
- ③ ラッセル=アインシュタイン宣言は、核兵器を開発・製造した科学者よりも、それを使用する政府指導者にこそ倫理的責任があるとして、核兵器廃止のための連帯した行動を彼らに要求している。
- ④ 資本主義体制における労働の疎外とともに、機械文明の中での人間疎外をも倫理的に問題とするマルクスの主張からは、カウンセリングその他の心理的な癒やしによる疎外の解消という道が導き出される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 4	21	①	3